

熱 砂

116名でスタートしました！

- No Challenge No Gain -

4月10日に新年度を開始しました。着任式、児童生徒歓迎会、始業式を行い、それぞれ新しい決意で出発しました。

4月11日に本校第37回目の入学式を行いました。ご来賓として、総領事の道上尚史様、日本人会会長の木村太郎様、本校学校運営理事会理事長の伊藤友介様、理事会の奥脇正夫様、そしてPTA会長の菱谷直史様をお迎えして、平成29年度の入学式を挙行了しました。小学部1年生12名、中学部1年生12名、計24名が希望に燃えて、ここドバイ日本人学校に入学いたしました。

ご来賓の方々から温かい励ましと大きな期待を寄せていただきました。

校長式辞では『私は皆さん一人一人が幸福になってほしいと強く願っています。皆さんはどんな時に幸福を感じるでしょうか。考えてみてください。幸福とはどんなことでしょうか。難しいですね。

「テストでよい点数をとることでしょうか」、「スポーツや芸術でよい成績を残すことでしょうか」、「希望する学校に合格することでしょうか」

もっと、いえば、将来、社会人として「お金をたくさん得ることでしょうか」、「有名人になることでしょうか」。

確かに、これらのことは大切なことであり、一つの幸せの形かもしれませんが、しかし、根本の幸福ではないと私は考えています。よい点数をとっても、次のテストでは悪い点をとってしまう場合もあります。希望する学校に合格できても、様々な理由で中退してしまう場合もあります。有名人になっても、病気や人間関係で苦しんでしまう場合もあります。

こんなとき、皆さんはどうしますか。そう、「もう一度、チャレンジしよう！頑張ってみよう！」と思いますね。前向きに努力する。何かにチャレンジする。再び、決意してスタートする。つまり、「挑戦し続けること」。その姿勢、そのものが根本の幸福であると私は考えています。「挑戦なくして成長なし」「成長なくして幸福なし」です。

「入学したら、これに挑戦しよう！」と今日、改めて決意してください。例えば、「朝は自分で起きる」「毎日あいさつをする」「授業はしっかり受ける」など、身近かにできることから始めてください。深い決意は未来を変えます。皆さんが、ここ、ドバイ日本人学校で、学び、お別れする時、一人残らず、「本当にドバイ日本人学校で頑張ってたかった！」と思えるように、私をはじめ教職員全員、全力を尽くして参ります』と話しました。



かわいらしいG1児童の入学記念撮影



凛々しいG7生徒の入学記念撮影

派遣教員のあいさつ

山本昭比古（やまもと あきひこ）校長



4月に東京都から参りました山本と申します。ドバイ日本人学校で11校目、校長として5校目になります。赴任直後、ドバイの成長、活力、エネルギーを強く感じました。その中で、がんばっている本校の子どもたちの姿に感動と勇気をもたらしています。いままでの経験をドバイ日本人学校の子どものために少しでも発揮できるよう努めて参ります。保護者の皆様をはじめ総領事館、日本人会、学校運営理事会、PTAの皆様等としっかり連携をとりながら、よりよい学校をつくっていく決意です。よろしくお願いいたします。

東上 渉（とうかみ わたる）先生



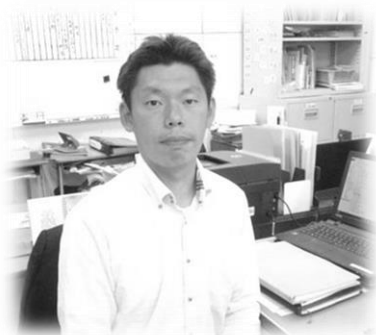
この4月より東京都から赴任して参りました、東上渉と申します。勤務先が西多摩郡瑞穂町という都心から離れた場所で、緑豊かな学校であったため、ドバイ到着時は全てに圧倒されていました。そして、赴任時に感じていた不安はDJSのパワーあふれる児童生徒と出会い、期待へと変わっていきました。専門教科は理科です。植生や天気など日本とは大きく異なる自然環境になりますが、科学的な見方、考え方を養うことに変わりありません。DJSの児童生徒とともに楽しく学んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

新藤 裕規（しんどう やすのり）先生



この4月に宮城県の仙台市から参りました、新藤と申します。3月まで雪景色だった仙台から一転、ドバイのパワフルな日差しを浴び、勇気が湧いてきました。DJSの素直で明るい子供たちと一緒に学び合えることを、大変うれしく思います。これまで小学校の担任や吹奏楽、合唱の指導にも携わってきましたが、体を動かすことも大好きで、高校時代はラグビーに明け暮れていました。今までの経験を生かしながら、子供たちの思いや願いを叶えてあげられるように、ここドバイでも精一杯力を尽くします。どうぞよろしくお願いいたします。

前橋 有（まえはし ゆう）先生



はじめまして。静岡県静岡市から参りました、前橋有（まえはし ゆう）と申します。山梨県出身です。これまでに静岡市の清水区の中学校に勤務しました。清水区でもっとも小さい中学校と最も大きな中学校の両方を経験しました。このたび、ここDJSに勤務することができ、子どもたちとともに成長できることをうれしく思います。ドバイの暑さに負けず、熱く頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。